

大麻合法化

【ワシントン＝青柳知敏】米西部コロラド州とワシントン州で六日、嗜好用の大麻使用の合法化をめぐる住民投票が大統領選と同時に行われ、賛成が過半数を占めた。医療用以外の使用が合法化されれば全米初となるが、連邦法は大麻を「違法薬

コロラドなど2州 住民投票

賛成過半数

物」として禁止。連邦当局は「違法は違法だ」と州政府にくぎを刺している。

米メディアによると、合法化案は両州とも、二十一歳以上ならば一対（約二十八対）以下の大麻の所持や使用が可能になるとの内容。医療目的での大麻使

連邦当局くぎ「違法は違法」

用はカリフォルニアなど十七州が容認。六日はオレゴン州でも住民投票があったが、反対多数で否決された。

合法化は、大麻使用が「酒やたばこよりも安全」と主張する米国内の団体が主導。この団体の代表は投票結果を受け、ブルグに「米国だけでなく世界の多くの地域に大麻解禁の流れをもたらすだろう」と書き込んだ。